

令和7年度大分県議会ユースモニター 委嘱状交付式及び第一回意見交換会

県議会では、若者の意見を県政に反映させるため、学生4名、社会人7名の計11名を「県議会ユースモニター」に委嘱しました。

9月11日（木）には、委嘱状交付式及び第1回意見交換会を開催し、10名のユースモニターが参加しました。

モニターは、県議会の仕組みや役割について学んだ後、「若者が暮らしやすい県にするには」をテーマに、2つのグループに分かれて議員と意見を交わしました。



ユースモニター意見

「温泉や自然、写真映える場所など魅力は多い。情報発信を強化すると良いと思う。」

「公共交通機関の便が少なく、車がないと日常生活や観光地等への移動に不便さを感じる。」

「大分市内の中心地から住宅街にかけて、交通渋滞が問題。」

「男女ともに育休取得も進む中で、子育て等ライフワークバランスを企業が関心を持って取り組むと働きやすさが高まる。推進する行政の制度が充実すると良いと思う。」

「障がいを持つ生徒の進学率が低く、支援体制が不足していると感じる。支援体制の強化、合理的配慮を進める必要がある。専門的な知識のある人材の支援があると有難い。」



終了後の感想

「大分県の現状を改めて実感し、より良くするにはどうしたらいいか話し合えて良かった。」

「他の人の意見を聞いて、自身の刺激になった。」

「意見交換会の前に議会を傍聴したが、とても貴重な機会になった。議会で実際に話し合われる様子を見て選挙に行かなければならないという思いが強くなった。」